

多様な武道等指導の充実及び指導体制の強化 武道推進モデル校 研究報告

| | |
|-------------------|---|
| <h2>空手道 ・ 剣道</h2> | 光市立光井中学校（ 山口県 ） 電話番号 0833-71-0160 メールアドレス mitsui-j@hikari-net.ed.jp |
|-------------------|---|

実践研究のねらい

剣道・空手道の2種目の実践により、武道の特性や成り立ちや基本動作など、その種目への知識・理解を深めるだけでなく、種目特有の高められる体力の向上を目指す。

地域スポーツ指導者のより専門的な指導（実演披露、経験談等も含めて）により、技能の向上だけでなく、礼法及び伝統的な行動の大切さを感じるなど、より専門的に学ぶことを目指す。

武道が重んじる「相手を尊重する」「自己を律する」という精神を学び、今後の生活に役立てていこうとする意識と実践力を高める。

専門性の高い指導者（講師）の指導に実際に触れることで、教員の知識・技能の向上につなげる。

多様な武道の指導モデル 第1・2・3学年（6学級168名）

| 種目 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | | |
|-------|-------------------------|---|-------------------------|---|-------------------------|---|----------------------|---|------------------------------|----|----------------------|----|-----------------------------|----|----------------------|----|----------------------|----|----------------------------|----|----------------------|----|-------------------|----|-------------|--|
| | 空手（1年） | | 空手（2年） | | 空手（3年） | | 剣道（1年） | | | | | | 剣道（2年） | | | | | | 剣道（3年） | | | | | | | |
| 学習の流れ | オリエンテーション （歴史・特性・礼法） | | オリエンテーション （歴史・特性・礼法） | | オリエンテーション （歴史・特性・礼法） | | オリエンテーション （歴史・特性） | | 導入（特性・前時の復習・体ほくし） （9歩の礼法） | | オリエンテーション （歴史・特性） | | 導入（特性・前時の復習・体ほくし） （一足一刀） | | オリエンテーション （歴史・特性） | | オリエンテーション （歴史・特性） | | 導入（特性・前時の復習・体ほくし） （自然体） | | オリエンテーション （歴史・特性） | | 導入（特性・前時の復習・体ほくし） | | | |
| | 基本形1・回し蹴り | | 基本形1・2 | | 基本形1・回し蹴り | | 基本形1・回し蹴り | | （送り足） | | （打ち方・打たせ方） | | （間合い） | | （構え方） | | （素振り） | | （構え方） | | （立会い・一足一刀） | | （竹刀の正しい振り方） | | （竹刀の正しい振り方） | |
| | 移動突手（一本組手） | | 移動突手（一本組手） | | 移動突手（一本組手） | | 移動突手（一本組手） | | （その場・動きながら） | | （打ち方・打たせ方） | | （送り足） | | （間合い） | | （素振り） | | （素振り） | | （立会い・一足一刀） | | （竹刀の正しい振り方） | | （竹刀の正しい振り方） | |
| | 上段受け・下段払い | | 上段受け・下段払い | | 上段受け・下段払い | | 上段受け・下段払い | | （送り足） | | （打ち方・打たせ方） | | （送り足） | | （間合い） | | （素振り） | | （素振り） | | （立会い・一足一刀） | | （竹刀の正しい振り方） | | （竹刀の正しい振り方） | |

指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

指導内容の工夫

1時間目の授業において、地域スポーツ指導者の方々に空手道の形、剣道の打ち込み稽古を実演していただいた。本物に触れることで、生徒の興味・関心が高まる様子を感じられた。

指導内容の精選

剣道では、3年間を見通して、各学年で指導内容を精選し、スモールステップでより武道の特性や実技での達成感を味わうことが出来るようにした。

生徒の視覚的な理解を促す資料の活用

今年度も掲示資料を活用。また、上記でも述べたように、地域スポーツ指導者が実際に手本を示す機会を増やし、生徒がより理解しやすい状況をつくり出すようにした。

授業の様子



【 空手道：上段受け練習 】

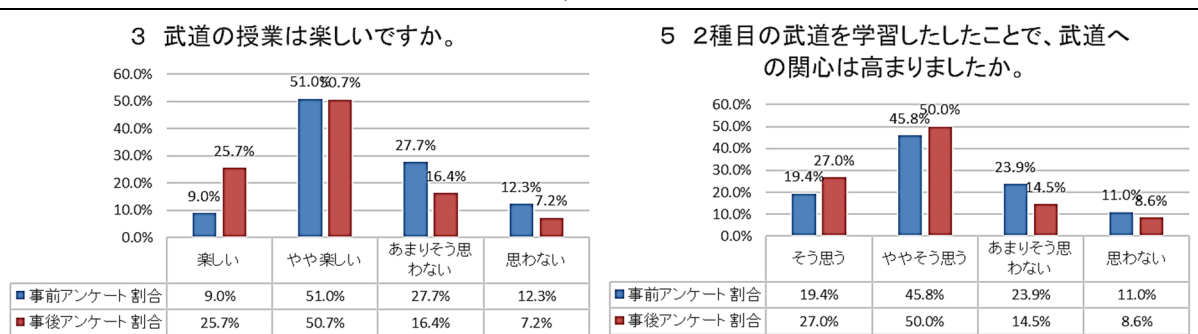
上段受け練習時に、指導者が受け方や間合い等について、実演を交えながら説明することで、より具体的に理解・実践することができた。



【 剣道：実際の面打ち（第1学年）】

基本的な竹刀の持ち方・振り方（面・小手・胴）のまとめとして、防具を着装した指導者の方に実際に面打ちを行った。

生徒の取組み方や意識の変容、感想など



授業が「楽しい・やや楽しい」と答えた生徒が約7割。剣道では、竹刀を握って面・小手・胴を打つこと（リズム剣道）や胴・垂れの着装、空手道では、基本型にチャレンジしたりするなど、より実践に近い状況を体験できたことに、「楽しさ（ワクワク感）」を感じている様子が見えかけた。

本事業で、武道への関心も高まっているため、今後の授業や学校生活において、武道にかかわる話題に触れたり、考えさせたりする機会をつくっていききたい。

成果

武道の授業が「楽しい」と答えた生徒が、約16%も増えていることから、今年度も本事業の手応えを感じている。（本事業が、今年で3年目となる3年生においても、「楽しい」と答える割合が増えた。）

空手道において、今年度も全学年での取組だったが、基本的な「構え・突き・蹴り」の技能に加えて、基本形にも取り組むことができたことが、生徒にとって充実感を得られているように感じた。

剣道では、授業を重ねるにつれて、竹刀の振り方、打ち方、など技能の向上が顕著に見られた。また、今年度は、地域スポーツ指導者の方々の実演も披露していただく場面も多く設定し、大変充実した内容となった。

本事業で、生徒たちが感じた思いを学校生活の中で表現できるようにサポートしていききたい。